

## 日バチカン国交樹立80周年記念「金継ぎ」

実施日：令和4年11月21日～25日 於：バチカン、イタリア（ローマ、ベネチア）

### ■ 派遣専門家



### 清川 廣樹

漆芸修復師

株式会社漆芸舎代表取締役

1957年4月大阪府生まれ。47年間、漆を用いた「漆芸」修復に携わる。

その対象は建築、仏像、陶磁器、漆器、アンティーク家具、古美術品など多岐にわたり、学術関係者との交流も持つ。2015年春から京都と東京で金継ぎ教室を主宰。自然素材のみで行う工法の丁寧な指導と、長年の職人生活で得た知識や様々な経験談を紹介。2019年7月、株式会社漆芸舎設立。イギリス公共放送BBC等のメディア出演多数。

### ■ 事業概要



実演  
(バチカン・ベネディクト16世ホール)



「ラジオ・スヴィツェラ」によるインタビュー  
(ローマ日本文化会館)



黒楽茶碗 デザイン金継ぎ「稲妻」



150席が満席  
(ローマ日本文化会館)



館長及び修復師への実演披露  
(ベネチア国立東洋美術館)



地元紙「ラ・ノーヴァ」紙(左)及び「イ  
ル・ガッツェッティーノ」紙(右)への掲載

### ■ 実施結果

2022年が日バチカン国交樹立80周年に当たる好機を捉え、漆芸修復師の清川氏がバチカン及びイタリアを訪問。近年海外でも注目を集める「金継ぎ」について、実演を交えつつ、その歴史や文化に加え、物を慈しむ心や自然との共生といったSDGsにも通じる精神性について講演を行いました。各会場では、現地政府関係者、各国外交官、美術・修復関係者、学芸員から熱心な質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われました。そのほかにも、各美術館長や修復研究所研究員との意見交換、プレスとの懇談が行われ、教皇庁広報省ニュースサイトや複数のイタリア地元紙にも掲載され、金継ぎを通じた日本伝統工芸の魅力の発信と価値観の共有を図ることができました。